



患者さんに、より大きく貢献し、成長していく 「がんに強みを持つ先進的グローバル創薬企業」の実現に向けて

株主の皆様には、日頃よりご支援・ご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

第5期中期経営計画(2021～2025年度)を公表してから3年半が経過しました。主力製品であるエンハーツ®(抗悪性腫瘍剤/抗HER2抗体薬物複合体(ADC))は、着実な市場浸透、上市国・地域の拡大と適応症追加により、当初計画を上回るペースでがん患者さんの治療に貢献し、医療現場の期待に応えています。がん治療に変革をもたらした、とも言われるエンハーツ®は、2024年11月、製薬分野におけるノーベル賞とも言われる米国ガリアン賞を受賞する栄誉にあずかりました。エンハーツ®に続くDato-DXd、HER3-DXdも、計画に沿って開発が進捗しています。加えて、2023年10月には、良好な臨床データが蓄積し、製品ポテンシャルが一層高まっているHER3-DXd、I-DXd、DS-6000についてMerck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA(米国メルク)と戦略的提携契約を締結し、共同開発・共同販促を通じて当社のイノベーションを、より早く、より多くの患者さんにお届けするための取り組みを進めています。また、適応症追加の前倒しによるDXd ADC製品の需要増加を見据え、生産体制の強化にも注力しています。

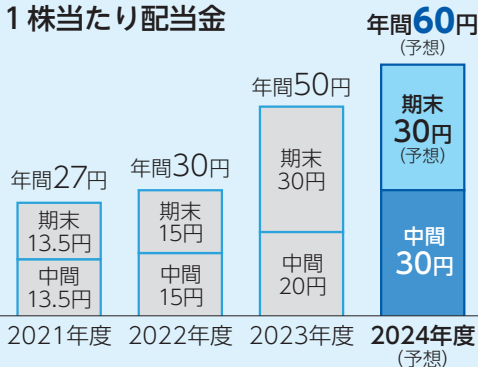
2025年度目標「がんに強みを持つ先進的グローバル創薬企業」の実現に向けて、当社グループは大きな成長を遂げつつありますが、大きなチャンスには大きな責任が伴います。私たちの責任は、患者さんにとって何が最善かを常に念頭に置いて意思決定を行うことです。「世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献する」としたパーパス(存在意義)のもと、患者さんに、より大きく貢献し、企業として成長していくこと。そして、企業の成長による恩恵を全てのステークホルダーが受けられることが、社会から評価され、期待され続ける企業であるために必要なことであり、これからも全社一丸となってこれを実践していきます。

今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

代表取締役社長 兼 COO 奥澤 宏幸

株主還元方針 と 2024年度配当

1株当たり配当金



第5期中期経営計画(2021～2025年度)期間中におきましては、利益成長に応じた増配、あるいは機動的な自己株式取得を実施することで、株主還元のさらなる充実を図る方針です。

2024年度においては、エンハーツ®のさらなる売上拡大等により、1株当たり配当金を前年度に比べ10円増配の年間60円の予定とし、中間配当として30円をお支払いすることとしました。

また、株主還元の充実とともに資本効率の向上を図るため、2024年4月26日から2025年1月15日を期限として、総額2,000億円または5,500万株を上限として自己株式の取得を実行中です。なお、ここで取得した自己株式の全株式数を、2025年1月31日に消却する予定としています。

Our Stories

第一三共のストーリー

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。

Passion for Innovation. Compassion for Patients.™



ウェブサイトでは、第一三共の活動ストーリーを数多くご紹介しています。
私たちのイノベーションへの情熱、患者さんへの想いに触れてください。

第一三共 ストーリー 検索



病気の「当事者」は患者さん本人だけではない。 患者さんとそのご家族との対話イベント 「Healthcare Café」を開催

複数の製薬企業が協働で企画する患者さんとの対話イベント「Healthcare Café」。第一三共が中心となって2024年6月に開催した第6回では、がん経験者の方に加え、患者さんを最も近い場所で支えるご家族にもお話を伺いました。病気に立ち向かう「当事者」は、闘う本人だけではありません。愛する家族の病気を知った時の感情や、闘う本人ではないからこそその葛藤があります。患者さんとその

ご家族にとって薬とは何なのか、車座になって語り合いました。

製薬会社の一員として、「当事者」を広げ、患者さんとそのご家族のお話を実務に繋げていくことが求められます。出席者からは、「薬の有効性を優先したくなるが、長期的に服用することを考えて少しでも副作用が少ないものを作りたい」、「副作用で味が分からないから、同じ食卓を囲むのに気を遣うというお話もあった。薬の副作用が家族に与える影響まで考えたい」等の感想が続々と集まりました。

「病気を患者さんのものだけにせず、自分ごとにしていくことが大切。患者さんの幸せを願う薬を作っていく。」病気と闘う本人以外の「当事者」のことも考えながら、一人ひとりの仕事に向き合う上でのきっかけとなった1日でした。

Story全文はこちら

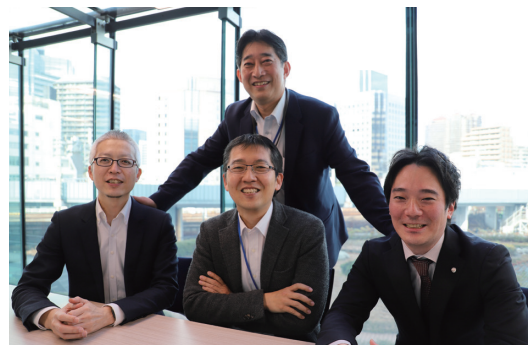


日本の医薬品開発に改革を! 開発部門に患者さんの声を取り込む フレームワーク(枠組み)

患者さんの医師への信頼が厚い日本では、治療法や薬の選択は医師の判断にある程度委ねるという傾向が認められ、医薬品開発の際に患者さんの意見やアイデアを取り込む活動は、欧米に比べて大きく遅れをとっていたと言われています。

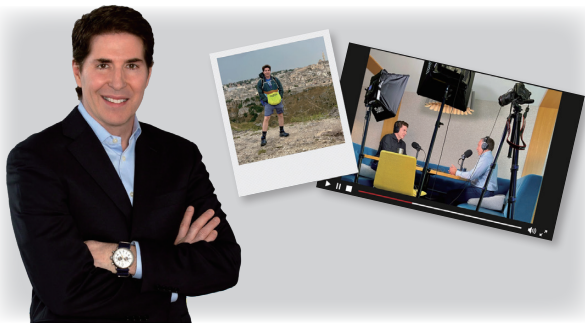
しかし、医療政策の全般において、その意思決定の場に患者さんや市民の関与を求める動きが高まってきています。

「一番重要なのは、医薬品開発を加速化し、一刻も早く患者さんに新しい薬を届けることです。」という強い想いととも、第一三共の開発チームは患者さんに、より参画いただける医薬品作りを推進します。



Story全文はこちら





誠実さと信頼をグローバル企業文化の中心に

2024年4月に第一三共グループ初のチーフ・コンプライアンス・オフィサー(CCO)に任命されたMatt Allegrucciさん。人生において、誠実さと信頼は常に中心的なテーマと語ります。

Mattさんは今、自身の経験と学び、そして実行力を以て、これまでで最大の挑戦に臨んでいます。それは、当社グループががんに強みを持つ先進的グローバル創薬企業へと変貌することを支える、グローバルなコンプライアンスおよびリスク管理体制とプログラムを構築することです。

「第一三共グループが、その開発パイプラインを通じて、世界中の多くの患者さんの健康で豊かな生活に貢献し続ける中で、最もエキサイティングな時期を迎えています。当社グループのさらなる成長に貢献できる機会に感謝し、高い倫理基準を持つグローバル企業のニーズを満たす、世界トップクラスのコンプライアンス・プログラムを作り上げるため、チームメンバーとともに挑戦していきます」と、Mattさんは決意を語ります。

Story全文はこちら



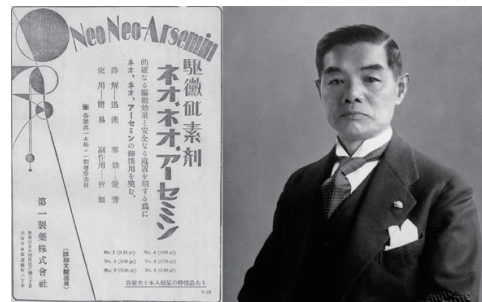
第一三共の歴史に関するストーリー

我々の最大の強みであるサイエンス&テクノロジーは、良質な薬を人々に届けたい、という想いから重ねたイノベーションへの挑戦によって培われたものです。現在の第一三共に受け継がれている先達の熱意や探求心のストーリーの数々も掲載していますので、ウェブサイトから是非ご覧ください。

世界初のアドレナリン結晶化にも成功。 様々な分野で新たな道を切り開いた 創業者・高峰譲吉



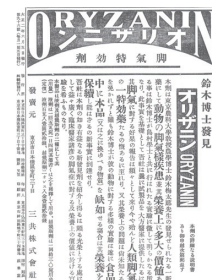
医薬品の国産化に挑戦。 若き技師たちが挑んだ「国産サルバルサン」



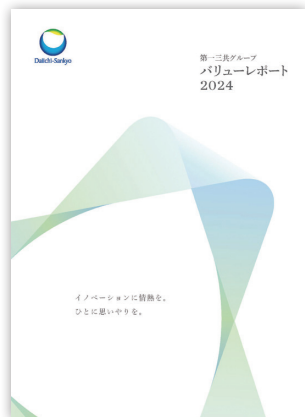
今も脈々と受け継がれるDNA。 高峰譲吉のイノベーションへの熱い想い



世界で初めてビタミンを発見。 専門分野を超えて研究し、 多くの製薬を成功に導いた鈴木梅太郎博士



バリューレポート2024を公開しました



第一三共の統合報告書「バリューレポート」は、パーパス実現に向けた当社の短・中・長期に亘る価値創造プロセスを財務・非財務の面から説明し、持続的な企業価値向上に向けたストーリーとしてご理解いただくためのコミュニケーションツール、また、ESGの観点での年間の取り組みやデータを報告するツールと位置付けています。

2024年9月に公開したバリューレポート2024では、特集として「革新的なイノベーションを生み出し続ける第一三共の「人」と題し、当社グループの最大の強みであるサイエンス&テクノロジーと、最も重要な資産である「人」に焦点を当てた人的資本をご説明しています。

また、対談・座談会の記事を通じて、「第一三共らしい」戦略や取り組みについてもご紹介していますので、是非ご覧ください。

第一三共 バリューレポート [検索](#)



第一三共のコンセプトムービーが新しくなりました

2024年10月1日から第一三共の新しいCMが放映開始となりました。ご覧いただけましたでしょうか。

特設サイトでは、2篇の新しい映像に加えて、抗体薬物複合体(ADC)技術の解説ムービー、そして成功率2万3千分の1に挑む研究者たちの話も公開しています。合わせて是非ご確認ください。



「第一三共が作りたもの」篇



「自分らしく生きるための」篇

サイエンス。それは、希望。 [検索](#)



サイエンス。
それは、希望。

イノベーションに情熱を、
ひとに思いやりを。



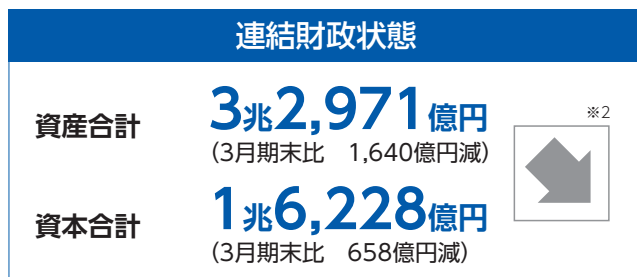
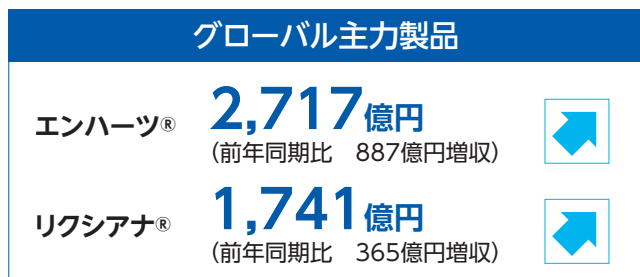
病気になっても、自分らしく生きていける。
第一三共が実現したいのは、そんな薬づくり。
ADC技術も、そのひとつ。がん細胞を狙って攻撃し、
身体への影響を最小限に抑えることを目指しています。
2人に1人ががんになるといわれる時代だからこそ、
わたしたちはその闘い方を進化させたい。
どこまでも人を想い、サイエンスを究めつづける中で。

2024年度 連結業績

■ 第2四半期累計(2024年4月～2024年9月) 業績ハイライト



※1 営業利益から一過性の収益・費用を除外した経常的な収益を示す指標



※2 自己株式の取得等による減少

■ 2024年度通期(2024年4月～2025年3月) 連結業績予想の上方修正

売上収益は、円安による増収効果に加え、リクシアナ[®]、エンハーツ[®]といったグローバル主力品を中心とした製品売上が好調に推移していることから、前回予想を800億円上回る1兆8,300億円に修正しました。

コア営業利益は、売上収益の増加に伴う売上総利益の拡大と、経費執行時期の一部見直しに伴う研究開発費の減少見込等を反映し、前回予想を500億円上回る2,600億円に修正しました。

親会社の所有者に帰属する当期利益については、前回予想を350億円上回る2,250億円に修正しました。

■ ユニット別売上収益

(単位：億円)

ユニット	第2四半期(前同比)	2024年度予想(前年比)	事業内容
ジャパンビジネス	2,397 (▲72)	4,688 (▲501)	日本国内のイノベティブ医薬品(新薬)、ワクチン事業
第一三共ヘルスケア	425 (+51)	847 (+87)	一般用医薬品等に関する事業
オンコロジービジネス	2,155 (+667)	4,410 (+1,064)	第一三共Inc.(米国)と第一三共ヨーロッパのがん領域事業
アメリカンリージェント	1,081 (+94)	2,151 (+117)	鉄欠乏性貧血治療剤やジェネリック注射剤等を扱う米国子会社
EUスペシャルティビジネス	1,182 (+317)	2,292 (+400)	がん製剤を除く第一三共ヨーロッパの製品事業
ASCAビジネス	996 (+165)	2,025 (+184)	アジア・中南米(Asia, South & Central America)事業

製品別売上収益の状況や過年度実績比較、また主要開発品目の臨床試験の状況等の詳細情報は、ウェブサイトに掲載している決算補足資料からご確認いただけます。決算経営説明会の映像・スライド資料とともに是非ご活用ください。

第一三共 決算説明会 検索



株皆様のご意見やご質問を、説明会の発表資料作成に反映してまいります。説明会で聞いてみたい事項等を右記の株主様専用サイト内のアンケートから是非お聞かせください。

2025年3月上旬には、IR支援会社共催の個人投資家説明会に奥澤社長が登壇予定です。アンケート内でメールアドレスをご入力いただいた株皆様には、参加方法を含む開催情報をお送りしますので、ご活用ください。

多くの株皆様のご意見やご質問をお待ちしております!

コレ
どういう仕組み?

2025年
1月31日(金)
まで受付

アレ
どうなってるの?

ソレ
よく分からない…

株主様専用サイト 「Engagement Portal」

<https://engagement-portal.tr.mufg.jp/>



エンゲージメントポータル 検索

① ログインID 1900 XXXX XXXX 入力不要

株主番号(8桁)

※株主番号は、配当金計算書の右上に記載されています。
左端のボックスに1900と入れた上で、4桁ずつご入力ください。

② パスワード(郵便番号+2024)……XXXXXXXX2024

※2024年9月30日時点の株主名簿にご登録の郵便番号に2024を付けて11桁としてください。

本サイトログインに
関する
お問合せ

三菱UFJ信託銀行 証券代行部

TEL 0120-676-808

(通話料無料、土日祝日等を除く平日9:00~17:00)

ご案内

当社の株主総会資料のご提供方法について

2022年9月1日施行の改正会社法により、株主総会資料は原則ウェブサイトでご確認をいただく電子提供制度が導入されましたが、当社では、決議事項のご審議をいただくにあたり、株主総会議案の参考書類は引き続きご郵送する予定です。事業報告等の詳細情報についても、書面交付を必要とされる株主様は議決権行使基準日となる3月31日までにご請求ください。

▼全ての株主様に郵送

開催概要及び株主総会情報を掲載したウェブサイトへのアクセス方法等

株主総会議案のご参考資料

▼3月31日までに書面交付請求いただいた株主様に書面郵送(予定)※

事業報告

連結計算書類

監査報告

等

*法令及び当社定款第16条に基づき、電子提供のみとしている事項を除きます。

書面交付請求のお手続き方法

お取引の証券会社又は下記記載の三菱UFJ信託銀行までお申し出ください。

過去にご請求をいただいた株主様は、2025年定時株主総会に向けた再度のお手続きは不要です。

三菱UFJ信託銀行 証券代行部

(証券代行部 電子提供制度専用ダイヤル)

TEL 0120-696-505

(通話料無料、土日祝日等を除く平日9:00~17:00)

よくあるご質問



<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>
もしくは株主様の口座がある証券会社等にお申し出ください。

MUFG 書面交付請求 検索



第一三共株式会社

〒103-8426 東京都中央区日本橋本町三丁目5番1号

FAQとお問合せ先一覧: <https://www.daiichisankyo.co.jp/contact/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。